

ふちゅう歴史散歩

Vol.120

備後介・卜部平麻呂と遣唐使の航海

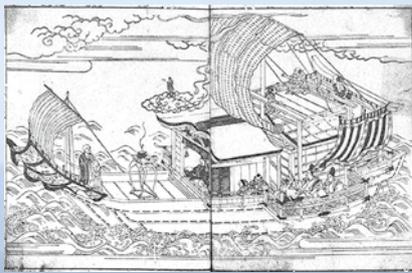


図1 承和度の遣唐使『真如堂縁起』

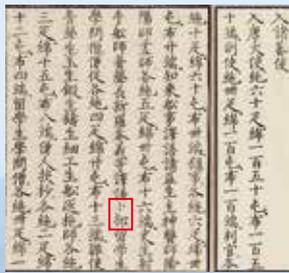


図2 『延喜式』

図1・2はクリエイティブ・コモンズ表示4.0ライセンスCC BY-SA (<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/deed.ja>) による提供資料 (国文学研究資料館所蔵) を改変して使用。

以前、小欄で承和度の遣唐使【図1】の基師・伴須賀雄について紹介しましたが、この遣唐使には、後に備後介となる卜部平麻呂という人物も加わっていました。

彼は伊豆国出身で、「卜部」という氏族名が示すように、ウミガメの甲羅を焼いて吉凶を判断する亀卜を担う氏族の一員でした。遣唐使選出時は、伊豆国から5人が選ばれる神祇官の卜部を務めており、亀卜により航海などの安全を占う、祈願するといった役割を期待されて遣唐使の卜部【図2】に選ばれたのでしよう。日本の遣唐使は、唐との政治的関係から危険な時期に渡海せざるを得ず、必然的に遭難することが多かったため、こうした役職が必要であったと考えられます。

帰国後は、神祇官の職を経て、三河・備後・丹波の国司の次官(介)を務め、元慶5(881)年に死亡しています。

行政官としての彼の手腕について、史料は黙して語りませんが、備後国で重要な判断を求められた際には、亀卜の術を駆使して対応するということがあったのではないのでしょうか。

投稿者 (文と写真)



府中東高校 写真部

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

先生たちからのサプライズ 高校生編 その77

1年生はクラス対抗球技大会で各クラス2チームごとに分かれ、ドッジボールを行いました。

予選リーグでは、同クラスのチームは当たらないようになっていましたが、順位決定戦では、全チーム同じクラスのチームと当たっていました。試合終了後も順位関係なく、全員が楽しんで終わったので良かったです。



2年生は、校舎内でクイズ大会を行いました。学校のさまざまなところに隠されたクイズを限られた時間の中で探し出し、挑みました。

クイズのジャンルは、英語、数学、社会などさまざまです。クイズの難易度は易しいものから難しいものまで、30問以上あり生徒全員楽しむことができました。来年も、機会があればまたやりたいです。



府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45 (そのうちの5分間) RCCラジオ (1530KHz)

今月の放送日 4月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

府中市のマチ・ヒト・モノに注目し、聞いて楽しく、府中市を感じられる内容をお届けします。

ラジコでも聴ける!

公式SNS facebook



スマホアプリ radiko (ラジコ)



府中市メール配信サービス

